

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1130	(H.26)No.	1130
-----------	------	-----------	------

事務事業名	防災対策費		
担当部局名	担当室名	室長名	
企画財政部	危機管理室	田中 弘二	

会計区分	事業コード	453001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	防災対策費
項	消防費	(小事業名)
目	防災対策費	防災対策費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	1	防災
	小 施 策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
災害に強いまちづくりを実現するために必要な環境整備を図ります。
事業内容
安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため防災対策の充実及び市民の防災意識高揚を図り、自助、共助及び公助が連携して取組む防災・減災体制を確立します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練の実施 地域防災体制確立支援 市及び防災関係機関連携強化 出前トーク等を通じた市民の防災意識高揚 避難所資機材購入 880千円 ハザードマップ作成印刷 870千円 県防災ヘリコプター連絡協議会負担金 3,147千円 他 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練の実施 地域防災体制確立支援 市及び防災関係機関連携強化 出前トーク等を通じた市民の防災意識高揚 避難所資機材購入 1,783千円 県防災ヘリコプター連絡協議会負担金 3,147千円 他 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練の実施 地域防災体制確立支援 市及び防災関係機関連携強化 市民の防災意識高揚 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練の実施 地域防災体制確立支援 市及び防災関係機関連携強化 市民の防災意識高揚 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練の実施 地域防災体制確立支援 市及び防災関係機関連携強化 市民の防災意識高揚

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	5,096千円	5,260千円	5,260千円	5,260千円	5,260千円
内訳(千円)					
国・県支出金	691	916	916	916	916
地方債					
その他()	987				
一般財源	(0) 3,418	4,344	4,344	4,344	4,344
人工数					
職員	1.44人	1.44人	1.44人	1.44人	1.44人
臨時職員等	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人
②概算人件費	(0千円) 11,599千円	11,599千円	11,599千円	11,599千円	11,599千円
①+②総事業費	(0千円) 16,695千円	16,859千円	16,859千円	16,859千円	16,859千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題) 平成25年度から総合防災訓練の取組方法を従前の展示型から市民総ぐるみで各々が連携する訓練へと転換することにより、多くの市民の参加を得ています。また、市職員を対象とした訓練では図上と実働を交えることにより、地域及び防災関係機関との連携強化を図ることができました。	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) 総合防災訓練の実施で明らかになった課題の解決を目指し、施策反映へと繋がります。また、三重県が公表した南海トラフを震源とする巨大地震の想定を基に作成した防災マップを全戸配付し、自助の充実と共助の強化に向けた取組を行います。
--	--

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	総合防災訓練を通じて、市民の防災意識の高揚や自主防災体制の充実・強化及び危機管理体制の充実等、基本方針達成の取組が大きく進みました。また施策指標の達成にも大きく貢献しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域が主体的に取り組む防災訓練への支援、地域を対象とした防災講演会の開催など地域と連携を図りながら、事業を展開しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 災害発生時、公助が機能するまでの間、自助、共助の働きが欠かせないことから、個人の防災意識高揚とともに、自主防災組織等共助の担い手となる組織の強化に注力します。	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市地域防災計画